



都市マーケットで、成長基盤を拡充

パルコ事業は、(株)パルコを中心に商業施設の開発・運営を行うショッピングセンター事業をはじめ、空間創造やビル管理を行う総合空間事業、高感度なセレクトショップを運営する専門店事業、話題性の高い情報発信と付加価値の創造を行うエンタテインメント事業、全国の商業施設および専門店へ向けたWebコンサルティングと求人支援を行うWebコンサルティング事業を展開しています。

「都市マーケットで活躍する企業集団」へ

パルコ事業は、国内外の変化を確実にとらえ、事業機会につなげていくための長期ビジョンとして「都市マーケットで活躍する企業集団」を掲げ、「都市の24時間をデザインするパイオニア集団」と「都市の成熟をクリエイトする刺激創造集団」の実現を目指しています。

◆その実現に向け、

① 都市部での新たな商業拠点の拡大、事業展開の強化をはかり、顧客への提供価値を拡大する「主要都市部の深耕」

② 多様化したライフスタイルに対応し、若い感性を持つ大人世代までの「コアターゲット拡大」

③ 店舗を基盤としてWEBとICTの進化を活用して事業革新・業務改革を推進する「独自の先行的ICT活用」

という、3つの事業戦略の推進に取り組んでいます。

積極投資により都市部での優位性確保

パルコ事業は、現在、都市部での事業拠点の拡大を積極的に推進し、将来の成長に向けた取り組みを進めています。

具体的には、福岡パルコでは、既存店舗及び隣接の土地建物を取得し、2014年11月に新館を開業、さらに2015年3月には隣接ビルの一部へのフロア拡張を実施し、コト消費の拡大や大人化・上質化、インバウンド需要へ

の対応強化をはかりました。また、同じ3月に名古屋パルコでは西館に隣接する名古屋パルコミディをオープンさせました。さらに、仙台において2店目となるパルコの出店を決定し、2016年初夏の開業を目指しています。

都心部一等地の中低層商業施設において、その立地の良さを活かし、事業規模に応じた効率の運営を実施する「ゼロゲート」事業では、心斎橋、道頓堀、広島に続き、2014年には名古屋オープン、さらに2016年には札幌への出店を予定しています。

パルコの既存店舗では、2014年度はさらなる魅力向上と競争力強化に向け、渋谷、池袋、名古屋を中心に約46,000㎡の改装を実施しました。今後も、ライフスタイルの変化への対応と感性豊かな大人世代へのターゲット拡大に向け、毎年、売場面積の約15%規模のリニューアルを継続的に実施し、先進的な商業空間としての鮮度維持に努めていきます。

2014～2016年度の中期経営計画では、パルコ事業として3ヵ年累計で370億円の設備投資を予定しており、次の成長に向けた強固な営業基盤の構築を着実に進めていきます。

ICT※を活用したサービスを本格化

WEB上でパルコ店舗在庫の取り置き予約と通販注文ができるサービス機能として誕生した「カエルパルコ」。静岡パルコからスタートし、昨年度中には都心店舗グループ8店舗に拡大しましたが、2015年度はパルコ全店での展開、100ショップ以上の参加を予定しています。また、パルコ公式のスマートフォンアプリ「POCKET PARCO」は、昨年の福岡パルコ新館開業時にリリースしましたが、2015年3月からは全店への展開となりました。このアプリを通じ、全国のテナントスタッフがおすすめる商品の閲覧や、「カエルパルコ」との連動による取り置きや購入なども可能となり、さらなる顧客の利便性向上をはかっていきます。

※ICT=Information and Communication Technologyの略で、情報処理および情報通信に関連する諸分野における技術・サービスなどの総称

グループとしてのシナジー追求

都市型商業施設の開発・運営という事業領域で優れたノウハウを有するパルコと連携を今後深めることで、当社は、新百貨店モデルを通じて取り組んでいる百貨店ビジネスモデルの変革を加速し競争力強化をはかるとともに、様々な業種・業態を展開する小売グループとしてグループ全体の成長力向上を図ることができると考えています。

最も効果が期待できる大丸松坂屋百貨店は、パルコとの間でトップ同士が定期的に会合を持つとともに、両社のノウハウの相互利用を目指した人材交流も行い、両社の情報共有を進めながら連携強化を図っています。特に、店舗の共同開発という点では、現在建替えを進めている松坂屋上野店南館は、2017年秋に商業、シネマコンプレックスとオフィスを備えた高層複合ビルとして生まれ変わる予定ですが、その1階から6階にはパルコが出店することが決定しています。パルコが出店することにより、顧客層の幅が拡大し、松坂屋上野店の食品売場、婦人雑貨売場などデイリー性が強いゾーンの活性化が期待できます。

こうした大丸松坂屋百貨店との取り組みだけではなく、大丸興業やJ.フロント建装など関連事業分野でも協業を進めていき、グループとしてのシナジー効果を着実に発揮していきたいと考えています。



福岡PARCO



名古屋PARCO midi